

自然災害をきっかけに発生する製品事故 ～備えは万全に～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 自然災害をきっかけに発生した製品事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1} において、自然災害をきっかけに発生した製品事故は、近畿地方2府4県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2009年度から2018年度までの10年間に合計6件ありました。

(1) 災害事象別 府県別 事故発生状況

表1に「災害事象別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 災害事象別 府県別 事故発生件数^{※2} (単位: 件)

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
雷			2	2			4
雪			2				2
合計	0	0	4	2	0	0	6

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)

(※2) 対象外情報を除いた事故発生件数。

2. 自然災害をきっかけに発生した製品事故の事例

(1) テレビ受信機（ブースター）が焼損

2018年9月 （大阪府、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

ブースター付近から異音がし、火が出て、周辺が焦げた

【事故の原因】

雷の影響により、テレビ受信機（ブースター）の電源回路部に過電圧が入ったため、部品が焼損したものと考えられる。

(2) ガス給湯器が変形

2014年2月 （大阪府、年齢・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

屋外の壁面に設置されたガス給湯器から異音がし、フロントカバーが変形した。

【事故の原因】

積雪により排気口部が閉塞された状態で給湯器を使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形したものと考えられる。

3. 非常用グッズの製品事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報において、自然災害発生によりガスや電気が止まった際に使用される製品（非常用グッズ）による事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2009年度から2018年度までの10年間に合計27件ありました。

(1) 製品別 府県別 事故発生状況

表2に「製品別 府県別 事故発生件数」を示します。

表2 製品別 府県別 事故発生件数^{※3}（単位：件）

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
カセットこんろ	1 [1]	2 [2]	5 [4]	2 [2]	2 [2]		12 [11]
ガスカートリッジ直結型ガスこんろ	1	2 [1]	1 [1]	2 [2]			6 [4]
ライター			3 [1]	2			5 [1]
携帯発電機			1 [1]	1			2 [1]
モバイルバッテリー	1 [1]						1 [1]
乾電池				1			1 [0]
合計	3 [2]	4 [3]	10 [7]	8 [4]	2 [2]	0 [0]	27 [18]
	事故件数						
	火災件数						

(※3) 対象外情報を除いた事故発生件数。[]は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表3に「府県別 被害状況」を示します。

表3 府県別 被害状況^{※4}（単位：件）

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷	1 (1) [1]	3 (3) [1]	5 (8) [2]			9 (12) [4]
		1 [1]	2 [1]	7 [6]	3 [2]	2 [2]	15 (0) [12]
物的被害	拡大被害	2 [1]	1 [1]				3 (0) [2]
	製品破損						
合計	3 (0) [2]	4 (1) [3]	10 (3) [7]	8 (8) [4]	2 (0) [2]	0 (0) [0]	27 (12) [18]
	事故件数						
	被害者数						
	火災件数						

(※4) 対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

4. 非常用グッズの製品事故の事例

(1) 携帯発電機の一酸化炭素中毒

2015年11月（兵庫県、年齢・性別不明、軽傷）

【事故の内容】

工事現場で携帯発電機を使用中、一酸化炭素中毒で4名が軽症を負った。

【事故の原因】

携帯発電機を屋内で十分な換気を行わないまま使用したため、一酸化炭素中毒に至ったものと考えられる。

(2) 経年劣化したカセットこんろで焼損

2018年9月（大阪府、20歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のカセットこんろの下部から火が出て、周辺を焼損した。

【事故の原因】

長期使用（製造後約36年）により、ガスボンベ接続部のステムパッキン（ゴム製）に亀裂が生じてガスが漏れる状態だったためにガスが漏れ、カセットこんろ内部に滞留した未燃ガスにバーナー炎が引火して周囲を焼損したものと考えられる。

5. 製品事故の映像について

再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者：リスク評価広報課 向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617